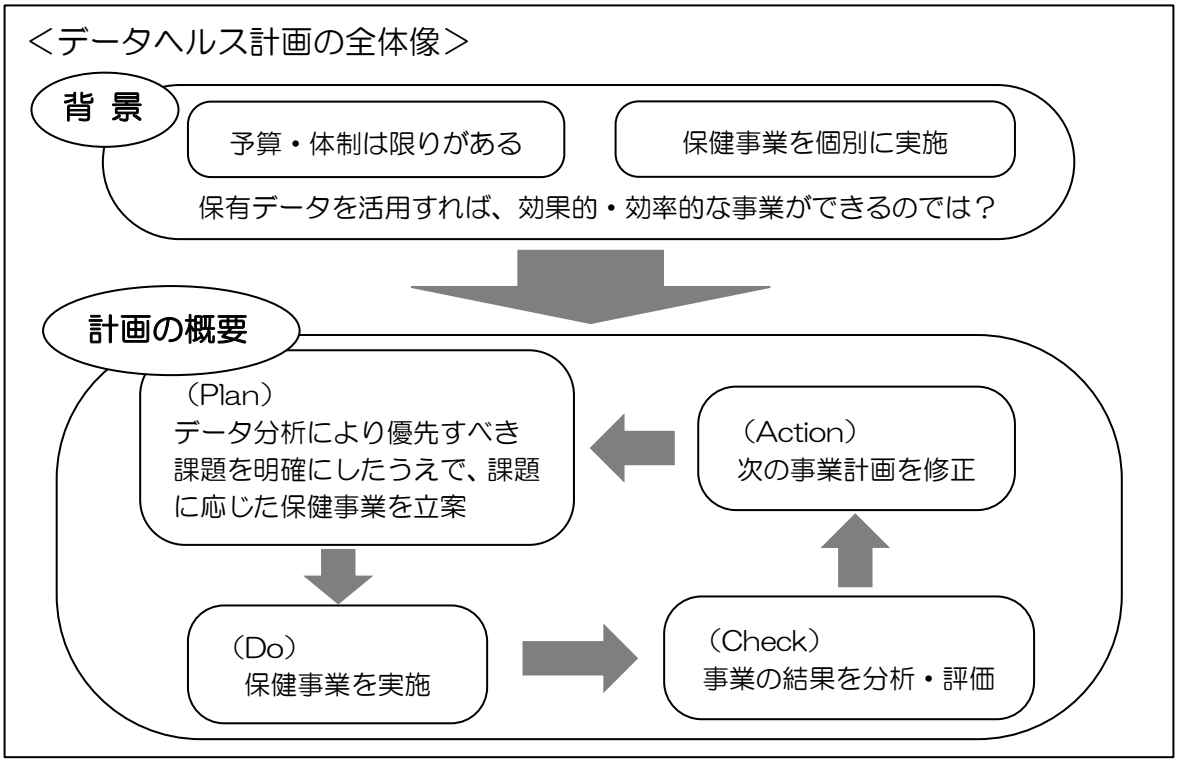
第１期 那智勝浦町国民健康保険 データヘルス計画（概要版）

データヘルス計画とは？

被保険者の健康の保持増進を目的に、保険者が保有する特定健診の結果やレセプト等の健康・医療情報を活用して、PDCA サイクルに沿って、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画です。



計画期間

平成 30（2018）年度から平成 35（2023）年度までの６年間。

平成 32（2020）年度に中間評価、平成 35（2023）年度に最終評価を行い、計画を見直します。

平成 30 年度（2018）	平成 31 年度（2019）	平成 32 年度（2020）	平成 33 年度（2021）	平成 34 年度（2022）	平成 35 年度（2023）
計画期間					
		☆ 中間評価			☆ 最終評価

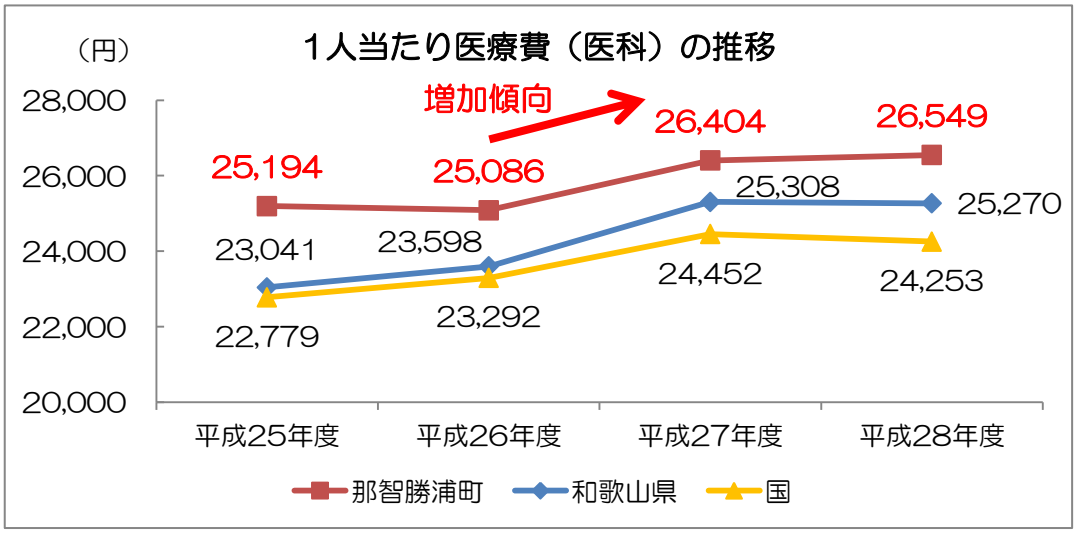
那智勝浦町が抱える４つの健康課題

国民健康保険が保有するデータを分析した結果、４つの健康課題を抽出しました。

健康課題①	生活習慣病の医療費が高く、それらの対象者は 40 歳代から増加傾向にある。自身の健康状態を把握し生活習慣病予防につなげる必要があるが、特定健診受診率が低いため、受診率を向上する必要がある。

読み取ったデータ

その１　１人当たり医療費が増加傾向で、和歌山県や国より高い



※1 人当たり医療費の金額は月額　　資料：KDB　健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

その２　慢性腎不全（透析あり）や高血圧症、糖尿病等の生活習慣病の医療費が高い

疾病別医療費の状況（平成 28 年度）

	入　院		外　来	
第１位	統合失調症	１億 8,732 万円	慢性腎不全(透析あり)	１億 615 万円
第２位	脳　梗　塞	2,683 万円	高 血 圧 症	１億 593 万円
第３位	慢性腎不全(透析あり)	2,130 万円	糖　尿　病	8,529 万円
第４位	肺　が　ん	1,952 万円	脂質異常症	5,353 万円
第５位	不　整　脈	1,855 万円	関 節 疾 患	4,516 万円

資料：KDB　疾病別医療費分析（細小分類）

生活習慣病の医療費が高い

その３　40 歳代で生活習慣病を発症し、50 歳代で重症者が増えている

生活習慣病のレセプト分析（平成 29 年９月診療分）

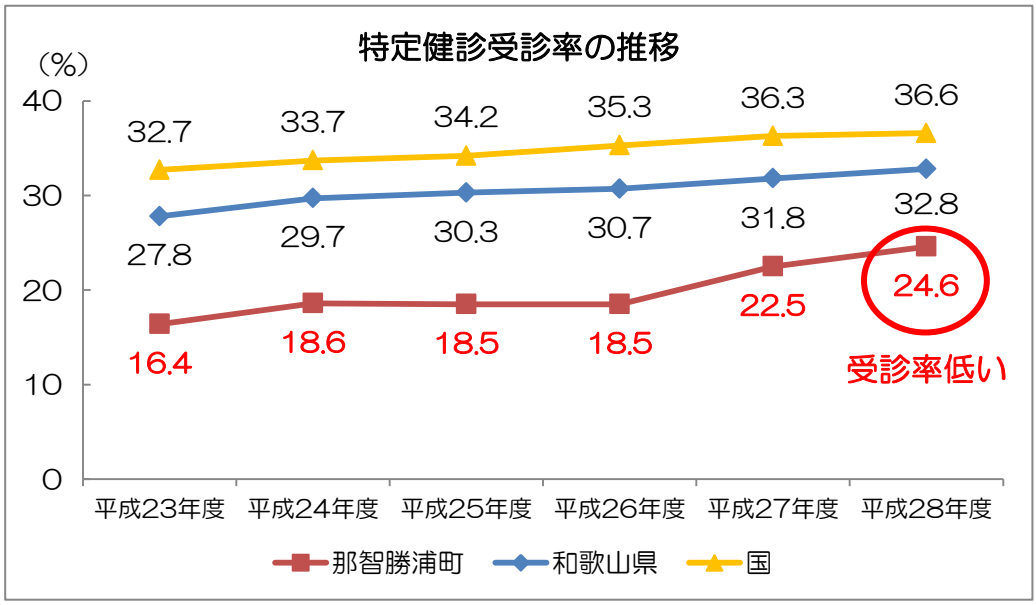
全体	大血管障害		人工透析	糖尿病	糖尿病以外の血管を痛める因子	
	脳血管疾患	虚血性心疾患			高血圧症	脂質異常症
20歳代以下	0	0	0	1	1	4
30歳代	0	0	0	3	10	6
40歳代	2	3	0	22	37	40
50歳代	17	13	7	55	91	73
60～64歳	13	27	5	77	156	156
65～69歳	44	78	4	194	493	368
70～74歳	89	89	6	205	467	385
計	165	210	22	557	1,255	1,032

資料：KDB　（様式３－１）生活習慣病全体のレセプト分析

50 歳代で重症化

40 歳代で発症

その４　特定健診の受診率が 24.6%と低い



※平成 28 年度は速報値　　資料：法定報告

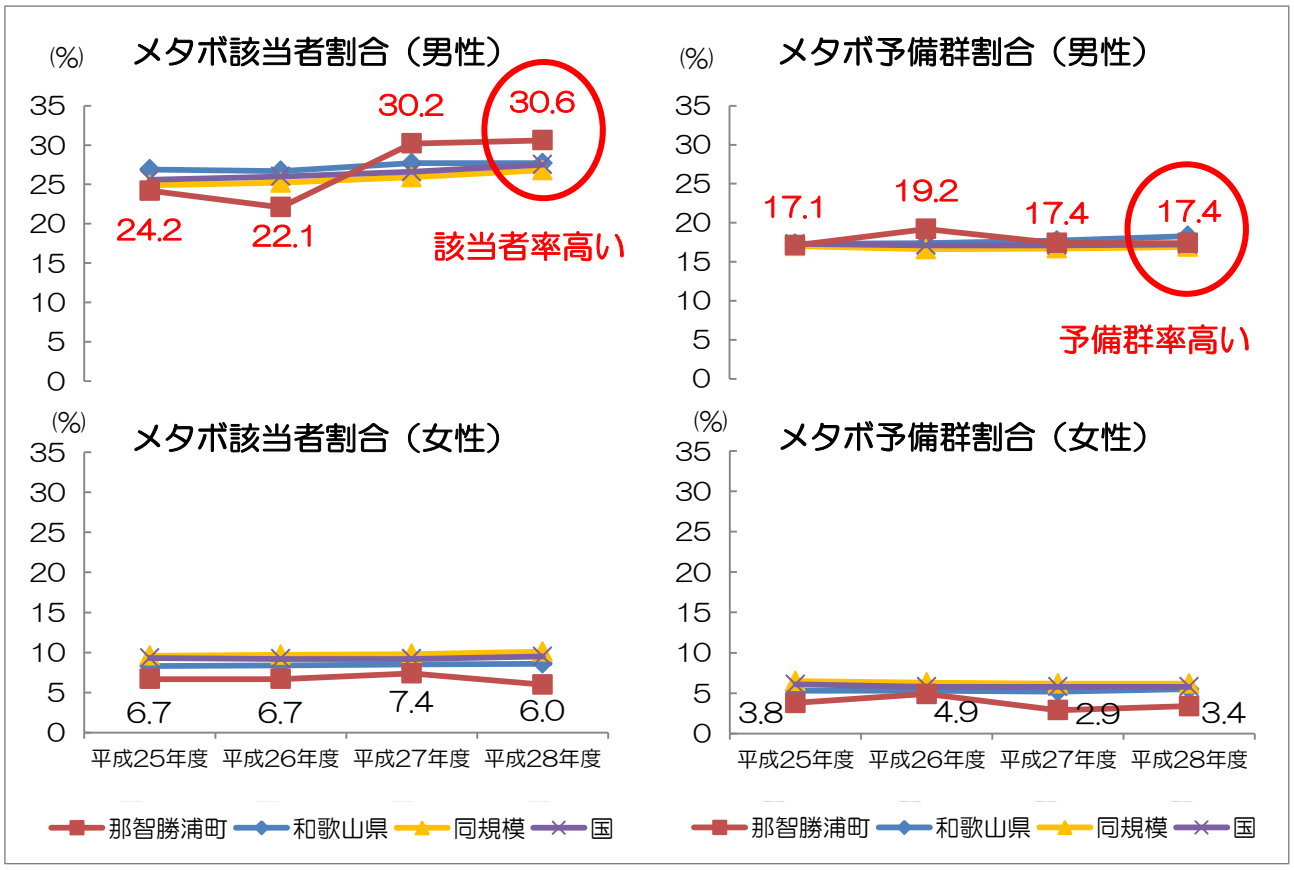
健康課題②

男性のメタボ該当者・予備群の人が多く、収縮期血圧などのリスク保有者も多いため生活習慣の改善を図る必要があるが、特定保健指導実施率が低いため、実施率を向上する必要がある。

読み取ったデータ

その１

男性のメタボ該当者、予備群の人の割合が和歌山県や国より高い



資料：KDB　地域の全体像の把握

その２　受診者の半数以上が、収縮期血圧や HbA1c、LDL コレステロールの所見あり

特定健診有所見率（平成 28 年度）

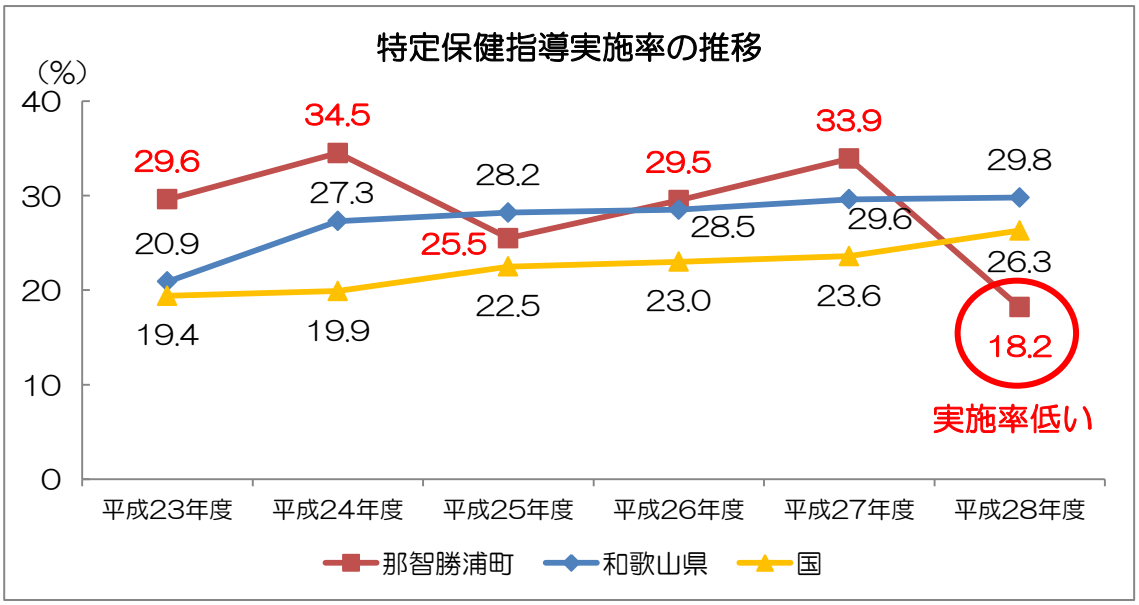
	那智勝浦町	和歌山県	国
BMI	20.4	23.0	24.9
腹囲	27.7	30.9	31.5
中性脂肪	23.8	20.9	21.5
ALT(GPT)	12.7	13.0	13.8
HDLコレステロール	6.0	4.9	4.8
血糖	44.2	20.4	21.6
HbA1c	52.0	55.3	55.4
尿酸	5.0	8.7	7.0
収縮期血圧	54.4	49.1	45.5
拡張期血圧	22.6	18.0	18.6
LDLコレステロール	51.2	56.7	52.9
血清クレアチニン	0.6	1.0	0.9

血糖の所見ありも多い

資料：KDB　（様式 6-2～7）健診有所見者状況（男女別・年代別）

半数以上が所見あり

その３　特定保健指導の実施率が 18.2%と低い



※平成 28 年度は速報値

資料：法定報告

健康課題③	慢性腎不全（人工透析あり）の医療費が高く、透析受療者も多数いることから、透析移行リスクの高い者に対し保健指導を行うことで、透析受療者の増加を抑制する必要がある。

読み取ったデータ

その１　透析受療者が 22 人おり、そのうち 15 人（約 68%）が糖尿病を受療

人工透析のレセプト分析（平成 29 年９月診療分）

	人工透析	血管を痛める因子		大血管障害			
		糖尿病		脳血管疾患		虚血性心疾患	
	人数	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
20歳代以下	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30歳代	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40歳代	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50歳代	7	5	71.4	1	14.3	1	14.3
60～64歳	5	2	40.0	1	20.0	1	20.0
65～69歳	4	2	50.0	1	25.0	1	25.0
70～74歳	6	6	100.0	1	16.7	2	33.3
合計	22	15	68.2	4	18.2	5	22.7

資料：KDB　（様式 3-7）人工透析のレセプト分析

透析受療者　　糖尿病受療者

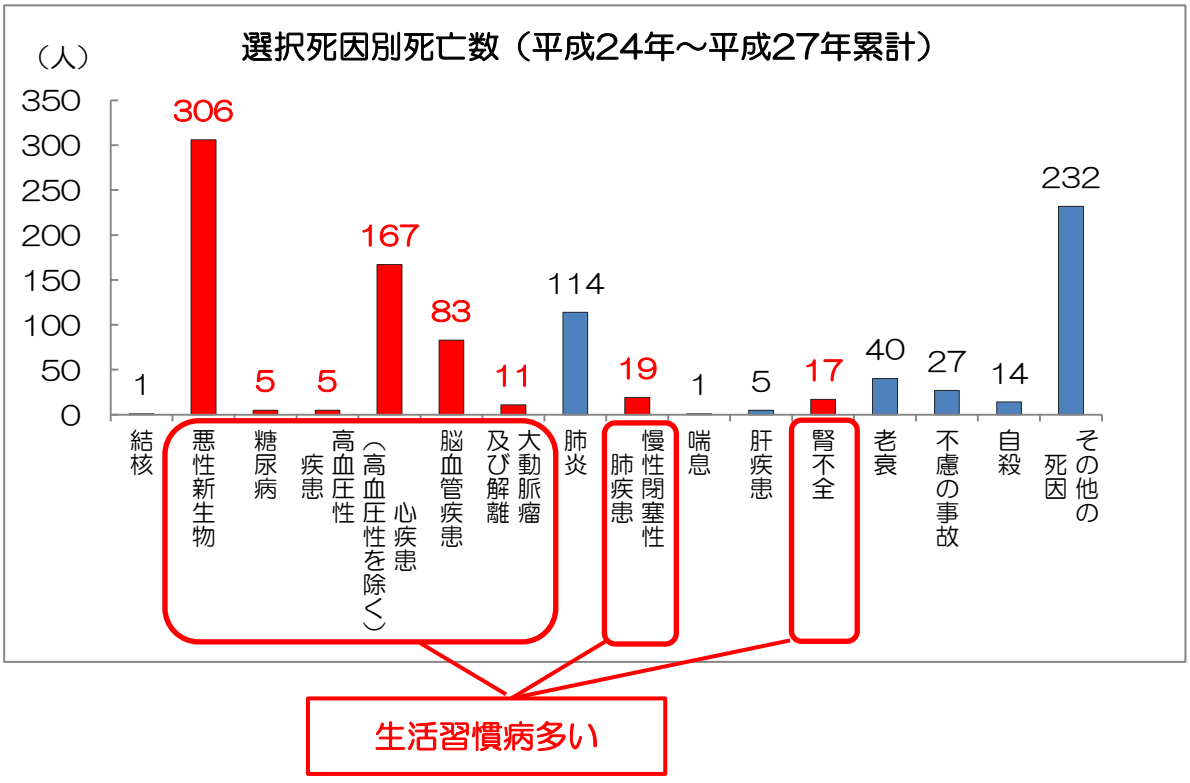
健康課題④

死因では悪性新生物や心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患が多く、介護認定理由では末期がんや脳血管疾患、糖尿病性神経障害・腎症・網膜症と、いずれも生活習慣病が多くなっている。また、健診結果が受診勧奨判定値で医療機関未受診となっている者も多いため、医療機関への受診に結び付けることで、生活習慣病の重症化を防ぐ必要がある。

読み取ったデータ

その１

選択死因別死亡数では、第１位が悪性新生物 306 人、第２位が心疾患（高血圧性を除く）167 人、第４位が脳血管疾患 83 人と生活習慣病が多い



資料：平成 24～27 年　人口動態保健所・市区町村別統計

その２

第２号被保険者の介護認定理由では、第１位が末期がん 13 人、第２位が脳血管疾患 10 人、第３位が糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症６人と生活習慣病が多い

16 疾病別介護保険第２号被保険者認定者数（新規認定のみ）（平成 24 年度～平成 28 年度）

疾病名	計
筋萎縮性側索硬化症	1
後縦靭帯骨化症	0
骨折を伴う骨粗鬆症	1
多系統萎縮症	0
初老期における認知症	2
脊髄小脳変性症	1
脊柱管狭窄症	1
早老症	0
糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症	6
脳血管疾患	10
進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病	1
閉塞性動脈硬化症	0
関節リウマチ	5
慢性閉塞性肺疾患	0
両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症	0
末期がん	13
計	41

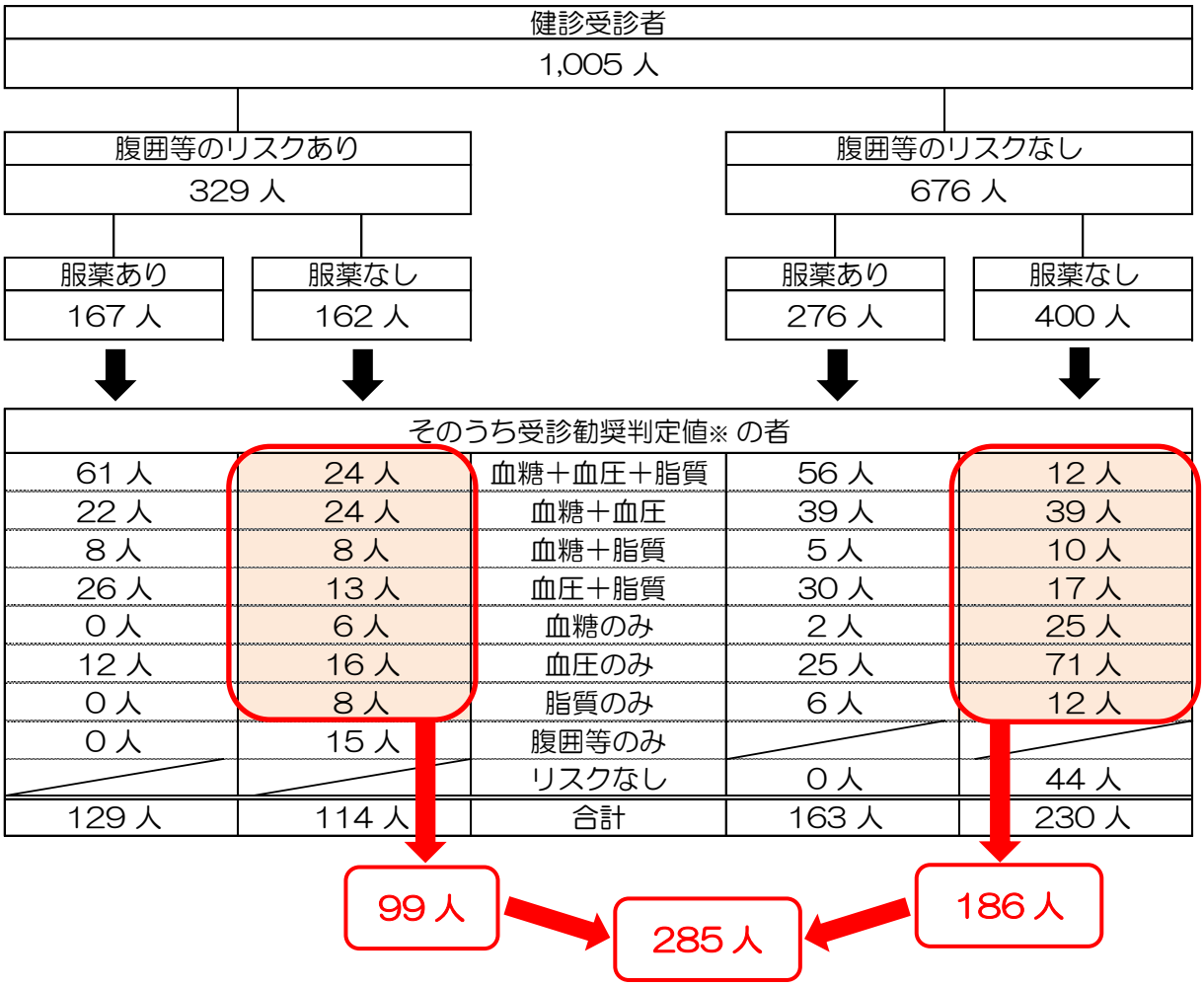
資料：福祉課　介護保険係

生活習慣病多い

その３

健診結果が「服薬なし」で受診勧奨判定値となった人が 285 人
そのうち「血糖・血圧・脂質」のリスク因子を複数保有する人が 147 人

受診勧奨判定者の状況（平成28年度）



		保健指導判定値	※受診勧奨判定値
血圧	収縮期血圧	130 mmHg	140 mmHg
	拡張期血圧	85 mmHg	90 mmHg
脂質	中性脂肪	150 mg/dL	300 mg/dL
	HDLコレステロール	39 mg/dL	34 mg/dL
	LDLコレステロール	120 mg/dL	140 mg/dL
血糖	空腹時血糖	100 mg/dL	126 mmHg
	HbA1c	5.6 %	6.5 %
腹囲等	腹囲	男性85cm・女性90cm	
	BMI	25 以上	

資料：KDB　健診ツリー図

健康課題の解決にむけて実施する事業

抽出した健康課題の解決に向けて、次の４つの事業を実施します。

【健康課題①】
生活習慣病の医療費が高く、それらの対象者は 40 歳代から増加傾向にある。自身の健康状態を把握し生活習慣病予防につなげる必要があるが、特定健診受診率が低いため、受診率を向上する必要がある。

【事 業 名】	**特定健診未受診者対策事業（既存事業）**
【事業内容】	年２回、特定健診の未受診者に対し、受診勧奨通知書を送付します。 １回目は健診開始１～２カ月後に未受診者全員に送付し、２回目は１回目の勧奨を送付してから１～２カ月後に経年未受診者に送付します。 いずれの場合も、過去の受診傾向等を分析して、対象者の状況に応じた勧奨を実施します。
【目　　標】	特定健診受診率　平成 32（2020）年度：36% 平成 35（2023）年度：45%

【健康課題②】
男性のメタボ該当者・予備群の人が多く、収縮期血圧などのリスク保有者も多いため生活習慣の改善を図る必要があるが、特定保健指導実施率が低いため、実施率を向上する必要がある。

【事 業 名】	**特定保健指導未利用者対策事業（既存事業）**
【事業内容】	特定保健指導の未利用者に対し、次の事業を実施します。 ①電話または訪問により利用勧奨を実施します。 ②結果説明会の出席困難者には個別対応を実施します。
【目　　標】	特定保健指導実施率　平成 32（2020）年度：35% 平成 35（2023）年度：50%

【健康課題③】
慢性腎不全（人工透析あり）の医療費が高く、透析受療者も多数いることから、透析移行リスクの高い者に対し保健指導を行うことで、透析受療者の増加を抑制する必要がある。

【事 業 名】	**糖尿病性腎症重症化予防事業（新規事業）**
【事業内容】	①レセプト、健診データより抽出した重症化リスクの高い者及び医師が保健指導を必要と判断した者に対して、保健指導の参加勧奨を行い、希望者に対してかかりつけ医と連携した保健指導を実施します。 ②糖尿病治療中断者や医療機関未受診者に対し、手紙や電話等により受診勧奨を実施します。
【目　　標】	新規透析受療者数（対 H24～H28 年度平均（4.2 人）以下） 平成 32（2020）年度：4 人 平成 35（2023）年度：4 人

【健康課題④】
死因では悪性新生物や心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患が多く、介護認定理由では末期がんや脳血管疾患、糖尿病性神経障害・腎症・網膜症と、いずれも生活習慣病が多くなっている。また、健診結果が受診勧奨判定値で医療機関未受診となっている者も多いため、医療機関への受診に結び付けることで、生活習慣病の重症化を防ぐ必要がある。

【事 業 名】	**生活習慣病重症化予防事業（新規事業）**
【事業内容】	健診の結果、生活習慣病重症化のハイリスク者（糖尿病性腎症重症化予防事業の対象者は除く）で、医療機関を受診していない者に対して、手紙や電話等により受診勧奨を実施します。 その後、レセプト等により受診の有無を確認し、受診していない者には訪問等により再度、受診勧奨を実施します。
【目　　標】	受診勧奨者の受診率　平成 32（2020）年度：100% 平成 35（2023）年度：100%

事業を実施した後、毎年度実施結果を分析して、翌年度の事業内容を見直します。
効果的・効率的に保健事業を実施するため、PDCA サイクルを継続して実行し、被保険者のさらなる健康増進を図ります！！

第１期那智勝浦町国民健康保険データヘルス計画（概要版）

発行月　　平成 30 年３月
発　行　　和歌山県那智勝浦町
編　集　　住民課保険年金係

〒649-5392 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字築地７丁目１番地１
電話　0735-52-0558
URL　http://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp